

霞城



- 第2中隊
- 第1中隊
- 重迫撃砲中隊
- 第3中隊
- 第4中隊

隊区担当中隊



第20普通科連隊広報紙 発行所/山形県防衛協会

第20普通科連隊ホームページアドレス
https://www.mod.go.jp/gsd/nea/6d/unit_hp/20i_hp/index.html

第20普通科連隊 検索

KAJYŌ



ホームページは
こちらから!



No.732

「令和5年度」 山形県・天童市合同総合防災訓練」 に参加



「訓練評価・総合訓練」を実施 訓練の総仕上げ

Contents

2ページ

- 関係機関との連携を強化
「令和5年度山形県・天童市合同総合防災訓練」に参加
- 「令和5年度第2次師団訓練検閲練成訓練」を実施
- 「大高根青年修養道場記念碑建立53周年記念祭」に協力

3ページ

- 訓練の総仕上げ「訓練評価・総合訓練」を実施
- 「令和5年度新隊員特技課程及び第20期一般陸曹候補生課程後期教育修了式」を実施
- 事故の絶無へ「令和5年度連隊安全の日」を実施

4ページ

- 「令和5年度連隊指揮所演習(計画策定)」を実施
- 秋の味覚の祭典に自衛隊をPR
「第35回日本一の芋煮会フェスティバル」広報展協力
- 「第51回谷地どんがまつり奉納銃剣道大会」に参加
- 定年退官者紹介
- 各種表彰
- 成績紹介
- 11月行事予定

2023

October

10

「令和5年度」山形県天童市合同総合防災訓練に参加

9月10日(日)、天童市スポーツセンターにて「令和5年度山形県・天童市合同総合防災訓練」が行われ、第3中隊副中隊長森1尉以下34名が情報収集伝達訓練、倒壊家屋からの救助訓練等に参加した。

訓練は「村山地域で震度6強の地震が発生し、建物の倒壊により電気ガス、水道等のライフラインに甚大な被害が発生、特に天童市では前日までの大雨で地盤の軟弱化と地震の影響による建物の倒壊・浸水により負傷者が発生し、土砂災害や火災も発生した」との想定で行われ、警察や消防及び自主防災組織など防災関係機関が参加して実施された。

連隊は、本訓練において、第3中隊長森1尉と佐藤1曹が各関係機関と調整を行うとともに、現地へ災害用ドローンが出勤し、被害状況等の情報を本部へ伝達した。その後、第3中隊の隊員が倒壊家屋からの救助訓練を行い、警察及び消防と連携して、迅速確実に要救助者を救助し、一連の行動について関係機関との連携要領を確認した。

また、炊き出し訓練においては第3中隊が炊事を実施したカレーを地域の自主防災組織により配給した。これにより炊事能力への理解及び相互連携要領の確認を図ることができた。

閉会式において統監代任の平山副知事は、「災害においては、自助・共助の精神が基本であり、地域の安全は地域で守ることが重要」と、警察・消防・自衛隊が到着するまでの自助・共助の重要性を述べられた。

連隊は今後も県内各自治体の防災訓練に積極的に参加し、災害発生時における対処能力を向上させるとともに、自治体及び各関係機関との連携強化を図っていく。



関係機関との連携を強化



負傷者の搬送

行方不明者の捜索

師団長による激励

炊き出し訓練



現地指揮所



調整の様子



木村莞爾氏による挨拶



記念撮影

参拝後、木村莞爾様よりご挨拶があり、大高根青年修養道場にまつわる経緯等を拝聴し、改めて大高根演習場の歴史と伝統及び重要性を認識した。

「大高根青年修養道場記念碑 建立53周年記念祭」に協力

9月15日(金)、大高根演習場(村山市)において、「大高根青年修養道場記念碑建立53周年記念祭」に協力した。

記念祭当日は、高木酒造株式会社代表取締役社長 高木辰五郎様、取締役 高木紀子様、高木若菜様、監査役 村川紫乃様、株式会社「石駒」取締役会長 松田駒成様、元県議会議員 木村莞爾様のご臨席を賜り、連隊からは連隊長(武田1佐)が参列し、参拝を行った。

「令和5年度第2次師団訓練検閲訓練」を実施

9月4日(月)から6日(水)までの間、王城寺原演習場(宮城県)において「令和5年度第2次師団訓練検閲訓練成訓」を実施した。

本訓練は、10月12日(木)から21日(土)に予定されている令和5年度第2次師団訓練の準備期間として実施した。

一連の攻撃戦闘間、情報と火力の連携を密接に行い、さまざまな状況における対処要領を確認し、各種戦術行動の練度及び各級指揮官の状況判断能力向上を図ることができた。

帰隊後は、本訓練の研究会等を行い、教訓事項の認識を統一し、師団訓練検閲に向け万全を期した。連隊は、武田連隊長の要望事項である「相互信頼」を実践し、令和5年度第2次師団訓練検閲で任務を完遂するべく、日々訓練に励んでいく。

警戒しながら前進する分隊

敵に対し射撃する機関銃手

「訓練評価・総合訓練」を実施 訓練の総仕上げ



徒歩行進訓練

新隊員教育隊(教育隊長・向田2佐は、9月12日(火)及び13日(水)の両日、神町駐屯地において訓練評価を、14日(木)夕刻から15日(金)昼にかけて大高根演習場から神町駐屯地までの周辺道路及び西訓練場において総合訓練(35km徒歩行進訓練)に引き続く陣地攻撃を実施した。

訓練評価では、軽火器2コ区隊が機関銃の分解結合を、迫撃砲区隊が砲手試験を実施したほか、全区隊ともに戦闘訓練を行い、新隊員たちはこれまでの訓練の成果を発揮して一生懸命に取り組んでいた。

また総合訓練では、大高根演習場から神町駐屯地まで約35kmにわたる経路で徒歩行進を行い、引き続き、軽火器区隊は偵察行動から陣地攻撃及び逆襲対処までの一連の行動を、迫撃砲区隊は陣地進入から火力戦闘及び陣地変換までの一連の行動を実施した。

新隊員たちは初めての夜間行進訓練であり、疲労と睡魔に襲われる状況であったが互いに声を掛け、励まし合いながら駐屯地を目指した。その後の戦闘行動においても、一人ひとりが「必ず任務を達成する」という強い気持ちで取り組み、誰一人かけることなく任務を完遂し、普通科隊員としての不撓不屈の精神及び技能を修得した。



5.56mm機関銃MINIMIの分解結合



筆記試験



砲手試験(120mm迫撃砲RT)



砲手試験(81mm迫撃砲)



訓練評価(戦闘訓練)



討議の様子(第1中隊)



黙禱(臨時連隊朝礼)

「令和5年度連隊安全の日」を実施

「令和5年度新隊員特技課程及び第20期一般陸曹候補生課程後期教育修了式」を実施

9月22日(金)、教育隊教場において「令和5年度新隊員特技課程及び第20期一般陸曹候補生課程後期教育修了式」(執行者連隊長 武田1佐)を実施した。

式には教育を修了した軽火器区隊22名、迫撃砲区隊15名の計37名が参加し、最先任上級曹長、各幕僚、各中隊長、各中隊先任上級曹長が陪列した。新隊員を代表して軽火器2区隊2班 矢部2士が教育修了申告及び中隊配置申告を行った。引き続き、本教育における成績優秀者に対して褒賞状が授与された。執行



教育修了申告

者は式辞において、「第一線部隊である各中隊へ配属され、先輩隊員とともに実務に就くことになる。同期、班長・班付との絆を大事にし、様々な訓練等を実施し、自己の修練に励んでもらいたい。」と述べ、新隊員の今後の活躍を激励した。

3カ月の教育を終えた新隊員たちは自信に満ち溢れた表情で、「中隊配属後はいち早く中隊の雰囲気慣れ、教育で学んだことを実践したい。」と決意を新たにしていた。



成績優秀者に対する褒賞状授与(矢部2士)

9月26日(火)、神町駐屯地において「令和5年度連隊安全の日」に伴い慰霊碑参拝及び安全教育を行った。連隊長、連隊幕僚、最先任上級曹長、各中隊長、各中隊先任上級曹長が慰霊碑参拝を行い、その後行われた臨時連隊朝礼において連隊全隊員で連隊所属の殉職隊員に対して黙禱を捧げた。連隊長(武田1佐)は「意識(知識)、体制、ルールの観点から、個人、分・小隊、中隊、連隊等のそれぞれの立場で一人ひとりが考え、意見を出して、実行し、安全管理が徹底された信頼される連隊にしていこう。」と訓示を述べた。また、各中隊計画で安全管理に係る事例に基づく討議を実施し、事故の未然防止に対して積極的に意見を出し合った。

事故の絶無へ

「安全の日」は、慰霊碑の22柱、特に20連隊の5柱の御霊を追悼するとともに、過去に20連隊で発生した訓練事故を風化させることなく、訓練事故を未然に防止し、自己及び同僚の身の安全について啓発することを目的として毎年実施されているものである。

「令和5年度連隊指揮所演習(計画策定)」を実施



火力調整会議

8月29日(火)から31日(木)までの間、神町駐屯地において、令和5年度連隊指揮所演習(計画策定)を実施した。本訓練は「10月に予定されている師団訓練検閲における全般作戦計画を策定するとともに、連隊本部の幕僚活動能力及び諸職種協同能力の向上を図る」ことを目的として実施された。支援部隊として、東北方面特科連隊、第22即応機動連隊、第6後方支援連隊、第6施設大隊、第6通信大隊の配属を受けた戦闘団として、積極的に各部隊と調整しつつ、各職種部隊の意見を取り入れながら戦闘力の組織化、各種見識を深化させ計画を作成した。



作戦会議

11月行事予定

- 3日(金・祝)・やまのべ・まるごと・フェスティバル
- 5日(日)・白鷹産業フェア・酒田イオンフェスティバル
- 6日(月)～10日(金)・連隊訓練野営
- 9日(木)・東北高校駅伝協力
- 12日(日)・山形市場まつり
- 12日(日)～16日(木)・師団総合戦闘射撃

「第35回日本一の芋煮会フェスティバル」広報展協力

秋の味覚の祭典に自衛隊をPR



大盛況の装備品展示

9月17日(日)、山形市馬見ヶ崎河川敷で開催された「第35回日本一の芋煮会フェスティバル」において、山形地方協力本部が実施した広報展に、第3中隊(中隊長丸山3佐)が協力した。第3中隊は、装備品展示(高機動車とオートバイ)を実施し、山形地方協力本部と協力して、高機動車やオートバイでの記念撮影等、地域住民の自衛隊の活動に対する理解の促進と魅力の発信を図った。

日本一の芋煮会フェスティバルは、今回で第35回目を数え、山形の厳選食材を使用し、直径6.5メートルの大鍋(通称「三代目鍋太郎」)や重機を使用して、約3万食の芋煮を振舞うものであり、全国各地から多くの来場客が訪れた。



配食担当ボランティアの高校生と記念撮影

各種表彰

- 【連隊長褒章メダル】**
(副連隊長伝令としての功績)
・第1中隊 神尾士長
- 【衛生学校教育部長より褒賞状】**
(第79期幹部上級課程において成績優秀)
・連隊本部 赤嶺1尉
- 【第2陸曹教育隊長より褒賞状】**
(第143期陸曹候補生課程において成績優秀)
・第2中隊 五十嵐3曹
- 【神町駐屯地業務隊長より褒賞状】**
(神町駐屯地司令職務室広報班広報陸曹として勤務優秀)
・第1中隊 宗方3曹
- 【9月警衛勤務優秀らっぱ手】**
 - ・第4中隊 齋藤2曹 (18日上番)
 - ・第2中隊 加藤士長 (20日上番)
 - ・重迫撃砲中隊 金子3曹 (21日上番)
 - ・第3中隊 海老名士長 (27日上番)

永年の勤務、お疲れ様でした！
定年退官者紹介

- ・本部管理中隊
- ・大沼 准尉
- ・9月25日付



表彰式



熱戦を繰り広げる選手たち

「第51回谷地どんがまつり奉納銃剣道大会」に参加

連隊銃剣道訓練隊は、9月17日(日)、どんがまつり(ホールまちなか広場(河北町))において開催された「第51回谷地どんがまつり奉納銃剣道大会」に教官(第1中隊富樫曹長)以下17名が審判及び選手として参加した。

本大会は、谷地八幡宮例大祭にあわせて行われ、連隊の他に第6施設大隊からも選手が参加し、屋外に設置された試合会場で、5人1組の団体戦及び個人戦にて行われた。広場に設けられた会場に多くの観衆が集まり、熱戦が展開された。

連隊銃剣道訓練隊は、歴史ある「どんがまつり」の開催に併せて実施される本大会に、厳粛な思いで臨み、屋外での試合にも関わらず、氣勢の充実した気迫と剣技を繰り出していた。

成績紹介

【令和5年度日本拳法北東北大会】

- 団体戦
 - ・優勝 第20普通科連隊A
 - ・第3位 第20普通科連隊B
- 個人戦(段の部)
 - ・優勝 重迫撃砲中隊 (最優秀賞)
 - ・第3位 第2中隊 松本3曹
- 個人戦(級の部)
 - ・優勝 本部管理中隊 朽木3曹
 - ・準優勝 第1中隊 石山士長
- 個人戦(女子の部)
 - ・第3位 第3中隊 宮林士長

【国民体育大会東北ブロック大会兼 ねて第50回東北総合体育大会】

- 銃剣道 団体戦(青年の部)山形県代表
 - ・先鋒 第2中隊 大場3曹
 - ・中堅 第2中隊 赤平2曹
 - ・大将 第2中隊 結城2曹
- 東北地区銃剣道選手権大会
 - ・個人戦(自衛官の部)
 - ・優勝 第3中隊 長岡3曹